

## 久しぶりの大阪市立大学

大阪に移ってから初めて、わが「母校」大阪市立大学を訪ねた。自宅から市大まで、大阪の端から端に行くようで、なかなか足を伸ばせなかった。でも、地下鉄御堂筋線のあびこ駅まで35分。40数年前の微かな記憶を思い起こしながら歩いて、15分ほどで行けた。

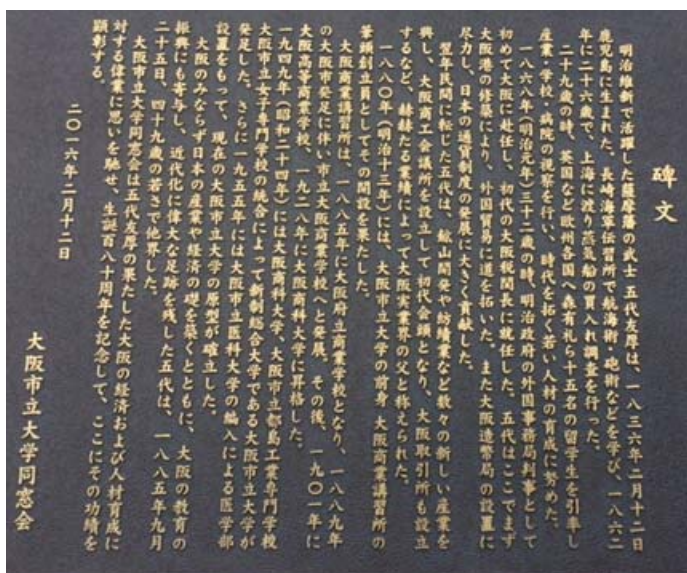
写真上は本部棟の時計台。レポートにも書いたが、確かこの2階が大学院入試の教室だった。あの日のことは、今でも忘れられない。本部棟前には、背の高いヤシの木が並んでいたが、すべて伐採されていた。なんだか殺風景な感じだった。

つぎの写真は「総合情報センター」。大きな高層の建物で、図書館などが入っている。じつは図書館を利用したくて大学に来た。入館手続きには、大学院修了の証明書が必要とのことで、写真の「サポートセンター」なるものに行った。ここは以前、法学部棟だったと思う。その奥に図書館もあり、書庫などをよく利用した。書庫での文献探しが懐かしい。

証明書の発行に時間がかかるというので、商学部棟の方に足を伸ばした。手前に五代友厚像と記念碑が設置されていた。なんだか感慨深いものがあった。商学部棟の4階右端が宮本憲一先生の研究室だったと思う。部屋に明かりが灯っているか、下から確かめ研究室に行ったものだ。キャンパスは当時と様変わりしたが、商学部棟のあたりは記憶に残ることも多い。

久しぶりに大阪市立大に来て、遠い昔の浪人・大学院を思い起こし、図書館を利用したくなった。春休み中ということもあり、閲覧室は静かであり、研究に関連する蔵書なども豊富だ。大阪市立中央図書館の「研究個室」にお世話になってきたが、やはり大学図書館とは違う。

すこし遠くなるが、できれば春から利用していきたい。まさに大学院時代の再現だ。



(2018年2月18日)